

単
元
名

「和泉市みらいプラン」を考えよう

教科書出版社名 (日本文教出版)

○ 小学校 (3) 年 教科等 (社会・総合的な学習の時間)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現する力。

・市や人々の生活の様子のおもしろさについて、意欲的に追究するとともに、これからの市の発展について考える力。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・資料を活用して生活の道具のおもしろさを調べ、自分の考えが伝わるように工夫してまとめる力。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…自分が選んだ昔の生活道具の情報を集める。
- 整理・分析…道具のおもしろさを年表にまとめ、自分の考えを持つ。
- まとめ・表現・発信…5年生を招待し「昔のくらし博物館」を開き、自分の考えを伝える。
「和泉市みらいプラン」を作成し、市役所に届ける。

○ 学習の展開 (全25時間) (学校図書館等を活用した時間は☆)

第1次	○「和泉市みらいプラン」の作成に向けて単元の見通しを持つ。 ・昔と今の同じ場所の写真を比べ、昔、今、未来について考える見通しを持つ。
第2次 (☆)	○昔の道具 (洗濯板) を使う。 ○自分の決めた昔の生活道具について情報を集める。 ・調べている道具のおもしろさについても、本で調べて必要な情報を集める。 ○調べた情報から道具のおもしろさを年表にまとめ、自分の考えを持つ。 ・道具や人々の生活の様子の変化を考え表現する。 ○「昔のくらし博物館」を開いて5年生を招待する。
第3次	○和泉市のおもしろさについて調べる。 ○和泉市の取組みについて調べる。 ・和泉市の取組みや課題にふれ、これからの市の発展について考える。 ○「和泉市みらいプラン」を考え、絵や文章で表現する。 ・市役所へ届け、担当者から話を聞き、地域社会の一員としての自覚を持つ。

(本時 13 / 25 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
相手を意識して発表を工夫し、自分の考えを伝えることができる。

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5年生を意きして発表を工夫し、自分の考えを伝えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをふりかえらせる。
30	<p>2. 「昔のくらし博物館」を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物や、資料からとった写真を見せながら道具の説明をする。 ・年表にまとめた道具のうつりかわりを説明し、なぜうつりかわってきたのか、未来の道具はどうなっているのかを伝える。 ・目線、間のとり方、身振りなど相手を意識して伝える。 ・質問がないかを問いかけ、調べたことを活用して詳しく伝える。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・実物がない場合、相手にとって分かりやすい資料を本から選ぶ。 ・道具のうつりかわりから未来の道具について考えられるように、本から資料となる写真を選び年表の形でまとめさせる。 </div>
5	<p>3. 5年生に感想を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道具のうつりかわりや、道具の未来についての自分の考えを深めさせる。
5	<p>4. 学習をふりかえり、次時の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えることができたか、「昔のくらし博物館」を開いて気づいたこと、分かったことは何かをふりかえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本から情報を集め、整理することで自分の考えを相手に伝わるように表現できるように気づかせる。

図書館活用ポイント

昔の道具 発表原稿()		3年組 名前()	
資料の 道具の説明	年代		
	道具の名前		
道具のうつりかわり	写真		
	よいところ		
自分の考え	不便なところ		



情報カード